

交通のご案内



- 東武スカイツリーライン(日比谷線)(半蔵門線)
 - 北越谷駅(西口)→車で7分
 - 越谷駅(西口)→車で7分(銀座50分、上野40分)
 - 武蔵野線
 - 南越谷駅→車で10分、東川口駅→車で10分
 - 埼玉高速鉄道(南北線直通)
 - 東川口駅→車で10分
- ※尚、お急ぎの方は病院西側停留所より、越谷駅行きのタローズバスが運行しておりますので、そちらをご利用下さい。(有料)



シンパシー Sympathy



送迎バス時刻のご案内

北越谷駅西口 発		病院本館前 発	
時刻	備考	時刻	備考
8:40		8	
9:30		9	15(北)
10		10	00(新)
11:15		11	00(北) 45(新)
12		12	
13:45	※45	13	(土)20(新) ※30(北)
14		14	※15(新)
15:45	※45	15	※30(北)
16		16	※15(新)
		17	※00(北) ※55(新)
		18	※40(新)

新越谷駅西口 発	
時刻	備考
8:00	
9	
10:15	
11	
12:00	
13	
14:30	※30
15	
16:30	※30

●※は土曜日運休です。ご注意ください。
●途中下車希望の方はご乗車の際に運転手までお申し出下さい。

タローズバス 越谷駅西口～県民健康福祉村

越谷駅西口 発				誠和病院前 発			
県民健康福祉村行き				越谷駅西口行き			
月～金	時	土	日・祝	月～金	時	土	日・祝
	50	6		53	33	6	
	55	40	25	10	7	00	30
	40	25	10	00	8	00	30
	50	30	10	9	00	30	00
	50	30	10	10	00	30	00
	40	10	11	00	50	00	50
	40	10	12	40	40		
	40	10	13	20	20		
	40	10	14	00	40	00	40
	40	10	15	10	40	10	40
	50	25	00	16	10	50	10
	40	10	17	25	30		
	40	10	18	25	20		
	10	19	20	10			
	50	00	20	20			
			21				

無印：県民健康福祉村行き □印：越谷誠和病院前行き
○印：浦和美園駅行き

診療統計 平成27年1月～12月 (月平均)

外来延べ患者数	68,145名(5,679名)	紹介患者数	2,184名(182名)
入院延べ患者数	64,791名(5,400名)	手術件数	1,606件(134件)
1日平均外来患者数	231名	内視鏡件数	1,414件(118件)
救急搬入数	2,091名(175名)		

理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足頂ける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。

患者様の権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、信条、障害の有無などに関わらず、良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 個人としての人格が尊重される権利
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との協力関係のもとで医療行為を受ける権利があります。
3. 十分な説明を受ける権利
自分が受ける治療の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明を受ける権利があります。
4. 自分が受ける医療行為を選択する権利
治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。別の医療機関の意見セカンドオピニオンを聞きたいというご希望も尊重します。
5. 自分が受けている医療について知る権利
自分が受けている医療について、質問することができ、診療録の開示を求める権利があります。
6. 個人のプライバシーが守られる権利
診療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

2016年の年頭にあたって

明けましておめでとうございます。

偶数年の今年も、二年に一度の診療報酬改定がある年でもあります。どうなることかと心配していましたが、年末の報道によれば、2016年度診療報酬改定については、ネットの改定率は1.03%のマイナスになるものの、診療報酬本体は0.49%引き上げられることに決まりました。

社会保障費に対する下げ圧力が非常に強い中、診療報酬自体が下げられるようなことにならなかったのは良かったと思います。

さて、今年も各自治体で地域包括ケアシステム構築に向けての準備が一段と進む年でもあります。地域包括ケアシステムとは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこととされていますが、団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて整備することが求められています。日本人の寿命が延びて、60歳以上あるいは65歳以上を高齢者といっても皆さんピンと来ないのではと思います。医療関係者が想定する高齢者は75歳以上の後期高齢者であり、この数は現在約1400万人ですが、2025（平成37）年には2000万人以上となることが予測されています。これと密接に関係して、今年も地域医療構想の策定が進んでいくと思われれます。既に病床機能報告制度は始まっていますが、今後の病院では病床区分が問題となります。即ち、四つの病床区分、高度急性期、一般急性期、回復期、慢性期のうち、どの病床区分をそれぞれの地域で受け持つのか、自院の立ち位置を明確にしていく必要があります。これらについては、地域医療構想調整会議（協議の場）で病床数や病床区分を検討していくことになっていますが、1月時点では私の所に具体的な情報は来ていません。

病院長としては、今後の病院経営に当たって考えなければいけない変数がいくつもありますが、いつも基本は同じだと私は考えています。様々な外的要因に振り回されることなく、当院の理念にある安全で質の良い医療を提供し続けていくことに邁進することが最も大切だと考えています。今年も地域医療に貢献できるよう職員一同頑張りますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



越谷誠和病院
院長 吉永圭吾



新年明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。今年4月には診療報酬の改定があり、大変厳しい年になることが予想されます。特に入院基本料に係る改定は、今まで以上の要件が厳しくなると考えております。しかし、当院はこれを機に、地域の医療機関、福祉施設の皆様とより一層連携を強化していく所存でございます。今後、少子高齢化社会や急速に変化する医療情勢を迎えるにあたり、自院だけではなく、他施設の強みや機能をお互いが理解し、情報を共有し、医療から介護まで、急性期から在宅までシームレスな環境を地域全体として構築していくことが、大変重要だと考えております。

今年も皆様のご期待に応えられるよう、『地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します』の理念のもとに、さらなる発展を目指します。本年もご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



事務長 大山輝夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院、看護部は190名の看護職、看護補助者が在籍しております。病院理念である「地域の中核病院として安全で質の良い医療を提供します」の意味を「看護」の行動レベルに意味づけをし、看護の視点から安全にかつ、安心できる療養環境を整えていくこと、患者様の気持ちに寄り添い、患者様の視点に立った看護を実践していくこと、そして看護の質をどのように向上させ継続していくのかということなどを日々看護管理の展開をしていく中で考えさせられます。

感謝の気持ち、お叱りのお言葉や要望など患者様から多くのご意見を頂いておりますが、良かったことは素直に職員と共に喜び、そうでないことは言動を振り返ってどのように接したら、どのように対応したらよかったのかを患者様の気持ちになって考えております。ご意見箱に寄せられる意見は宝として、今後もよりよい看護を追求し地域の皆様に安心していただける看護職員の育成に尽力してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



看護部長 真々田美穂



医師紹介

院長	吉永圭吾 (よしなが けいご)	外科
内科		
内科部長	中川 晃 (なかがわ あきら)	呼吸器科
	桑原 大彦 (くわはら だいひこ)	小児科
	本郷 進一郎 (ほんごう しんいちろう)	消化器科
	箱島 明 (はこしま あきら)	循環器科
	坂井 義貴 (さかい よしたか)	循環器科
外科		
外科部長	井出 明毅 (いで あきたけ)	
	宮田 大士 (みやた たいし)	
	原 朋広 (はら ともひろ)	

整形外科

整形外科部長	大堀 正明 (おおほり まさあき)
	木村 和正 (きむら かずまさ)
	舘浦 慎 (たてうら まこと)
	鈴木 萌 (すずき もえ)

泌尿器科

泌尿器科部長	青木 慶一郎 (あおき けいいちろう)
	菅原 基子 (すがはら もとこ)

麻酔科

麻酔科部長	岡本 泰介 (おかもと たいすけ)
-------	-------------------